



沼津西ロータリークラブ週報



2016～2017年度
第26巻23号
2017年1月12日

人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
■ 年男の抱負 (宮島君・植松君) ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘
事務局 ●TEL 055-961-2050 (久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600 (久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1215例会 会長挨拶◆◆

年末・年始、私が読んでいた本が、施 光恒 (せてるひさ) 著「英語化は愚民化 日本の国力が地に落ちる (集英社新書)」でした。イギリスのEUからの離脱、そしてトランプ氏の当選と続いた昨年の流れは、グローバリズム (地球主義) = 世界を同じ制度、同じ仕組みで統一しようという動きと、ナショナリズム (国民主義) の衝突という面があります。その地球主義の一面として英語を公用語化しよう、という流れがあります。

「公共の場での会話は英語のみに限定する」、「販売される書籍・新聞は英語媒体とする」。2014年8月、内閣官房は「公用語を英語とする英語特区をつくる」という提言を発表したのです。もしもこうした流れが進んだ時に、どんな社会が出現するか、ということを知りたいという例えで示せば、実は中世のヨーロッパが、まさにそうした社会だったのです。当時のヨーロッパでは、ごくごく一部の知的エリートだけが、ラテン語を理解することで情報を得ることができ、知的な議論に参加できたのです。

宗教改革以前には、聖書はラテン語版しかありませんでした。ごく大雑把に言えば、当時の聖書は生活全ての根幹でした。ですから現代に例えれば、六法全集は全て英語版のみ、役所の書類も英語版のみ、そしてそれを理解できる人間だけが、知識と権力を手に入れることができる、とえば分かりやすいと思います。その地域で使用されている言葉、つまり英語、ドイツ語、フランス語に聖書を翻訳、そして土着化することで、一般の人々にも知識と想像力を与えヨーロッパは近代化に成功したのです。その過程は、実は明治維新で日本が辿った過程、そのものなのです。当初日本でも東京大学での講義は、殆どが英語のみでした。なぜなら日本語には当時まだ、近代科学を学ぶための専門用語が無かったからです。そこで明治の人々が取り組んだのが、翻訳と土着化だったのです。明治20年までに20万語を創造した、と言われます。その一部を引用して見ると、日本ではそれまで無かった概念の国家、思想、国際、学校、学生、伝統、侵略、意識、現実、進化、理想、常識、改革などがあります。

日本が明治において成し遂げたこと。つまり今まで知らなかった概念を自国の言葉に置き換えること、国民の誰もが情報を得て社会活動に参加できる仕組みを作り上げること。発展途上国において、その手助けをすることが、世界から尊敬され、また日本自身の経済発展の推進力にもなるのです。

1月のプログラム	
1216回 18:30 01月19日(木)	ひろ繁 (原) 新年会 クラブ管理 運営委員会 時間変更 移動例会
1217回 12:30 01月26日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会 (上 期活動報告) 名古会長・土屋幹事
2月のプログラム	
1218回 12:30 02月02日(木)	ニューウェルサンピア沼津 職業奉仕セミナー報告
1219回 12:30 02月09日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム⑤ (地区補助金の使い方) ロータリー財団 100周年シンポジウム報告 理事会⑧
1220回 12:30 02月16日(木)	12:30-14:00 ニューウェルサンピア沼津 職場見学 赤武エンジニアリング (株) 会場変更 時間延長
1221回 14:00 02月26日(日)	クリスタルホールパレオン 静岡第3区IM 富士宮RC 会場・曜日・時間変更

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告 (会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1215 回	26 名	24 名	-	92.31 %
1213 回	25 名	21 名	1名	88.00 %

●欠席者 (2名)

神尾栄一、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

上野祥行 (12/27 沼津北RC)

●スマイル報告 (本日のスマイル 32,000 円)

1. 芹澤貞治：誕生日のお祝いありがとうございます。本年も、宜しく願いいたします。
2. 下原満知子：誕生日のお祝いありがとうございます。
3. 田村治義：家族の誕生日のお祝いありがとうございます。入会記念日のお祝いありがとうございます。
4. 名古屋良輔：宮島さん、植松さん、年男の抱負、お願いします。
5. 鶴田龍聖：年男の方々、本年の抱負を宜しくお願いいたします。
6. 名古屋賢次、7. 鈴木良則、8. 渡邊亀一、9. 本村文一、10. 宮島賢次、11. 植松 正、12. 芹澤和子、13. 重光純、14. 杉山真一、15. 田村治義、16. 土屋昌之、17. 成田みちよ、18. 上野祥行、19. 穎川ゆう子、20. 鈴木和憲：新年あけまして、おめでとうございます。今年も、宜しく願いいたします。
21. 久松 但：所用につき早退させていただきます。

会 長	名古屋良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	杉山真一

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①新富士RC
1月17日(火) 特別休会

2. 報告・連絡事項

- ①本日は、理事会があります。理事の方はよろしくお願ひします。
②次週は新年会です。場所は、原のひろ繁で、夜間例会です。
③1月26日(木)の上期活動報告の原稿を本日中に事務局にご提出下さい。
④1月のロータリーレートは、1ドル=116円です。
⑤ロータリーの友誌1月号に、沼津西クラブの25周年記念式典での講演内容が、SPEECH欄に掲載されています。是非ご一読下さい。
⑥1月14日(土)は、ゆっくり走ろう会です。14時にニューウェルサンピア沼津テニスコート駐車場集合です。ランニングシューズだけはご用意下さい。汗を流した後は、沼津駅近辺で懇親会を開催します。

理事会報告

1. 報告事項

- ・防災マットの贈呈式について、現在日程調整中であり、決定次第報告します。
- ・ロータリー財団の寄付、12月中に完了しました。
- ・クリスマスの寄付 防災マット購入後の、剰余金は奉仕プロジェクト委員会に入れる。

2. 協議事項

- ①2月度のプログラムの件 クラブ管理運営委員長 宮島賢次君 ⇒原案通り承認
②職業奉仕セミナー参加の旅費について 1月29日(日)の職業奉仕セミナーに杉山君と名古屋会長が参加する。旅費の電車代の実費を支給する。⇒原案通り承認
③2月26日(日)のIMのバスの件 柿田川R.Cと一緒に 行程は別紙の通り(沼津駅10:30 発 原駅入り口10:55発) 昼食はクラブで用意はせず、各自で済ませる。大型バス代を柿田川R.Cと折半 ⇒原案通り承認
④江田敏彦様からの原稿料寄贈の件
・江田敏彦様が原稿料を沼津西ロータリークラブに寄贈して下さるとの事。使用目的については、ベトナム支援活動に使って下さいという了解を得ました。⇒原案通り承認
⑤2017年度 米山奨学生 世話クラブ カウンセラー引き受けの件 今年度は不可⇒原案通り承認

年 男 の 抱 負



宮島賢次君

今年の干支は、10干は4番目の丁(ひのと)、十二支は10番目の酉(とり)という事で、丁酉(ひのととり)になります。

私が生まれた60年前も同じ丁酉でした。つまり10と12の最小公倍数60ですから60通りの組み合わせが元に戻ってきた。という事になります。

一周回って元に戻るの、子供に戻って人生をやり直すから還暦と言うそうです。(本人は50歳のつもりですが)60歳という本厄になります。私はプラス思考であり気にしない事にしています。

例年通り元旦に家族で地元の日枝神社に参拝しおみくじを引き、そして全員のおみくじが入る様に写真を撮って残しています。

私は去年に続いて大吉でした。ここ4・5年仕事では良い年が続いているので、もう少し続けてくれるなど思い込んでおります。

しかし、3日に数年振りに風邪を引いたか熱がでまして、4日になっても下がらないので原地区で名医の本村クリニックに受診したら、インフルエンザA型でした。従って一応8日まで大人しくしていましたが、良く考えると仕事においては、正月は出掛けられず挨拶回りも出来ない代わりにデスクワークが出来、10日から会社の方が忙しくなるが支障が無い、という事でどうせインフルエンザに掛かるのなら良い時に感染してくれた。と思うのであります。



植松 正君

新年明けましておめでとうございます。私の会員歴は3月で丸12年を迎えようとしております。つまり、年男の抱負を述べる機会としては、今回が初めて経験となります。私は1969年(昭和44年)1月生まれでして、間もなく満48歳を迎えます。因みに、その年はアポロ11号が人類初の月面着陸を成功させ、東名高速道路が全線開通し、地元では新幹線三島駅が開業されるなど、明るい話題が多かったようです。

新年を迎えるに当たり、今年のテーマは「育てる」とし、具体的に三つの方針を立てました。

- ①仕事(本業)…従業員の業務スキルアップを図る、
- ②仕事(副業)…アスルクラロをJリーグプロサッカーチームとして相応の組織・財務体質に整備する、
- ③ロータリー…若手会員への教育・指導、です。

12年前は、突然の事業継承で目先の課題を捌くことに追われていました。今年はいよいよ余裕を持ち、決して上から目線ではなく「ヒトを育てる」ことで、自分自身も成長を”トリ”込める1年にしたいと思います。

額川 (3)	久松 (④)	井上 (2)	神尾 (④)	宮口 (3)	宮島 (④)	本村 (④)
室伏(休会)	永井(3)	名古(④)+2	成田(3)	芹澤和(④)	芹澤貞(④)	重光(④)
下原(3)	杉山 (④)	鈴木博(2, 2)	鈴木和(④)	鈴木良(3)	田村 (④)	土屋 (④)
鶴田(3, 1)	植松 (④)	上野 (3, 1)	渡邊勝(2)	渡邊亀(1, 免除)	山本 (3)	
			例会出席%	85.15 %	地区報告%	89.11 %

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
■ 新年会 ひろ繁 ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘
事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1216例会 会長挨拶◆◆

16年前に会長を務めた時にクラブテーマを、「それぞれが地域に一つ 恩返し」としました。ロータリアンとして、私たちは地域から選ばれた存在です。地域に根ざして活動し、地域を礎として生活を営んでいます。ところが、先週お話をした、英語を公用語化しようという動きを解説した本の中に、地球主義を信望する一部のエリートたちが、地域社会を蔑(ないがし)ろにする、「エリートの反逆」が現代アメリカを苦しめている、という話が出てきます。

アメリカでも日本でも、かつてエリートは地域の名望家であり、天下国家を憂い、責任を負う覚悟を持った存在でした。地域社会のなかに自らの生産基盤を持ち、自分の現在の地位が地域社会や、それを成り立たせている国からの恩恵を被っていることに自覚的だったため、エリートは公共の問題に強い関心を抱き、自分を育ててきた地域社会や国の発展を願い、実際にさまざまな形でそれらに貢献しようとする存在でした。グローバル化の進展に伴い、変質したエリートたちは各国の民主主義や一般国民の生活を脅かす存在となる、とアメリカのラッシュ教授は指摘しました。

21世紀のアメリカでは、ラッシュが危惧した通りの事態が生じているのです。社会の中心を占めるようになった、ごく一握りの富裕層である「グローバル・エキスパート」は、庶民層や貧困層に連帯意識などほとんど持たず、守衛詰所やゲートのある高級住宅街(ゲーティッド・コミュニティ)に逃げ込み、子供たちはそのなかの私立学校に通う。高級住宅街の外側の、公共の事項には無関心になる。自分たちの生活の基盤たるグローバル市場が円滑に運営されている限り、アメリカという国家がどうなろうと知ったことではない。公共精神を喪失した新しいエリート層の「反逆」に、現在のアメリカ社会は苦悩している、というのです。そして、そうした苦悩・怒りがトランプ氏を大統領に押し上げたのです。

日本が、将来このようにならない、という保証はどこにもありません。ごく一握りの自信に満ちあふれた無国籍なグローバル・エリートと、日本語や日本文化に対する自信を失い、打ちひしがれた大多数の一般国民。まさに中世ヨーロッパ並みの格差社会が、近い将来の日本で再現されるのではないかと、危惧するのです。

世界のロータリアンこそが職業を通じて、こうした流れに抗して地域社会を守るべきだ、と私は信じているのです。

1月のプログラム	
1217回 12:30 01月26日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブ協議会(上期活動報告) 名古会長・土屋幹事
2月のプログラム	
1218回 12:30 02月02日(木)	ニューウェルサンピア沼津 職業奉仕セミナー報告
1219回 12:30 02月09日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム⑤(地区補助金の使い方) ロータリー財団100周年シンポジウム報告 理事会⑧
1220回 12:30 02月16日(木)	12:30-14:00 ニューウェルサンピア沼津 職場見学 赤武エンジニアリング(株) 会場変更 時間延長
1221回 14:00 02月26日(日)	クリスタルホールパティオン 静岡第3区IM 富士宮RC 会場・曜日・時間変更

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告(会員総数 27名)

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1216回	25名	20名	-	80.00%
1214回	26名	21名	1名	84.62%

- 欠席者(5名)
久松 但、本村文一、重光 純、鈴木良則、上野祥行
- スマイル報告(本日のスマイル 3,000円)
1.名古良輔:新年会、楽しくやりましょう。
2.土屋昌之:本日は、新年会の準備をありがとうございました。
3.神尾栄一:前回、欠席すみません。

幹事報告

- 他クラブの例会変更等
 - 富士RC
01月25日(水) 例会後、職場見学
 - 沼津北RC
01月24日(火) 夜間例会(新年会) MU受付11:30~12:30
- 報告・連絡事項
ございません。

会 長	名古良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	杉山真一

新 年 会

平成29年度 新年会は、時間・会場を変更して原駅前にある、ひろ繁にて行われました。



本日のクラブ管理運営委員会の司会の担当は、植松君と下原君の2人の担当でした。



開会の言葉は、井上武雄君



乾杯は、芹澤貞治君



フグ料理を堪能しながら、会話が弾む会場内



乾杯の様子



閉会の言葉は、芹澤和子君



人類に奉仕するロータリー

● クラブテーマ ●
入会し みんな幸せ ロータリー

■■ 本日のプログラム ■■
■ クラブ協議会（上期活動報告） ■

例会場：ニューウェルサンピア沼津
例会日：毎週木曜日 12:30点鐘

事務局 ●TEL 055-961-2050(久松会計事務所内)
●FAX 055-961-2600(久松会計事務所内)
E-mail ●numawestrc@gmail.com

◆◆第1217例会 会長挨拶◆◆

皆さんは、「第三の産業革命」とも言われるメイカームーブメント（Maker Movement）をご存知ですか。MAKERSの著者、クリス・アンダーソンにより定義されました。メイカーとは、作り手、という意味、つまりは何か製品を作り出す人です。メイカームーブメントの活動は、従来の製造業をくつがえすという側面から「メイカー革命」と呼ばれる事もあります。パソコンや3Dプリンターの登場で、個人や小規模チームでも製品開発を行えるようになり、このような制作行為をパーソナルファブ리케이션（個人製造）といい、ソーシャルウェブ（ブログやSNS）の普及によって、個人製造の結果が、社会を変える発明に繋がることを「発明の民主化」と呼ぶこともあります。3Dプリンターにより従来、金型を使わなければならないものが個人で製作可能となったのです。

かつて、アイデアだけで世界を変えるのは、とても難しいことでした。画期的なネズミ捕り器を発明したとしても、数百万個の単位で製造できなければ、世界は振り向いてくれません。マルクスの言葉どおり、製造手段を支配する者が、権力を持っていたのです。

ところがコンピューターによるデザイン、そして3Dプリンターによる原版の作成が個人レベルでも可能となると、あとはいかに魅力的なデザインと機能を盛り込むかが勝負となります。多品種、少量生産を請け負ってくれる会社は、世界中に存在するので、製品に関わる情報をデジタル化すれば世界中の工場が協力してくれるのです。しかしこれまでは、たとえどれだけ魅力的な製品を作り上げても、それを消費者に知らしめ、そして届ける身近な手段がありませんでした。

アマゾン・ジャパンは2017年1月18日、クラウドファンディングなどで資金を集めて製品化を実現したスタートアップ、日本語でいうベンチャー企業の製品を、Amazonのユーザーに紹介、販売、配送する新サービス「Amazon Launchpad」を日本で開始した、と発表しました。つまり作り手は、製品開発にのみ特化すればよい、ということになります。魅力的な機能と、魅力的なデザイン、設計があれば、世界中の消費者を相手に事業を行える時代が来たのです。小規模で良いのです。要（かなめ）はデザイン力なのです。こうした工房を沼津に集めれば、沼津発の世界製品が生まれる日も、遠くないと私は思うのです。

2月のプログラム

1218回 12:30 02月02日(木)	ニューウェルサンピア沼津 職業奉仕セミナー報告
1219回 12:30 02月09日(木)	ニューウェルサンピア沼津 クラブフォーラム⑤ (地区補助金の使い方) ロータリー財団 100周年シンポジウム報告 理事会⑧
1220回 12:30 02月16日(木)	12:30-14:00 ニューウェルサンピア沼津 職場見学 赤武エンジニアリング(株) 会場変更 時間延長
1221回 14:00 02月26日(日)	クリスタルホール・テオン 静岡第3区IM 富士宮RC 会場・曜日・時間変更

クラブ管理運営委員会報告

★出席報告（会員総数 27名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
1217回	26名	22名	-	84.62%
1215回	26名	24名	1名	96.15%

●欠席者（4名）

永井克彦、成田みちよ、下原満知子、渡邊勝也

●他クラブへの出席者

神尾栄一(1/24 沼津北RC)

会 長	名古良輔	幹 事	土屋昌之
広報委員長	上野祥行	編 集 者	杉山真一

●スマイル報告 (本日のスマイル 13,000 円)

1. 植松 正：誕生日のお祝いありがとうございます。
2. 名古良輔、3. 鈴木良則：クラブ協議会、よろしくお願ひします。
4. 田村治義：ポールハリスフェローの認証を頂き、ありがとうございます。
5. 芹澤和子：ベネファクター認証ありがとうございます。
6. 上野祥行：先週、インフルエンザで休みまして、申し訳ございませんでした。植松さんにうつしてしまい、すみませんでした。
7. 土屋昌之：上野さん、植松さん、復帰、おめでとうございます。



ベネファクター及びポールハリスフェローの授与

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津柿田川RC

1月30日(月) 裁量休会 (サインMU有り)

2. 報告・連絡事項

①次週は、理事会がありますので理事の方は出席又協議資料の提出をお願いします。

②2月16日(木)の職場見学の出欠席をご記入ください。

クラブ協議会 (上期活動報告)



幹事 土屋 昌之

本日のクラブ協議会は、上期活動報告を各委員長より発表していただきました。

クラブ管理運営委員会の宮島委員長からは、ロータリー活動月間に合わせて、各委員会と協力し、魅力ある例会作りに務めた旨の報告がありました。

又、出席率及びメイクアップ率の向上に努めたが現

在の出席率は90.6%との発表がありました。

公共イメージ委員会の上野委員長からは、発行頁数を2頁に収めるよう努めたが、4回にわたり3頁になってしまったため、勉強会を実施し、編集のやり方を再確認し、不備等が発生しないよう再発防止に努めた報告がありました。

又、マイロータリー登録者講習会を実施し登録率を48%まで伸ばした旨の発表がありました。

会員増強維持委員会の田村委員長からは、クリスマス例会を友人・知人同伴例会とし会員候補者1名の参加を頂いた報告がありました。

奉仕プロジェクト委員会の久松委員長からは、クリスマス家族例会における寄付の話、ベトナムでの国際奉仕の話、インターアクトの活動の報告がありました。

ロータリー財団の植松委員長からは、財団への1人150ドルの寄付、ベネファクター及びポールハリスフェローの寄付、又沼津4クラブ合同コンペ開催の際の、ロータリー財団100周年の冠名の付与又その際の寄付の話がありました。

SAAの芹澤和子君からは、例会が楽しさの中にも緊張感のあるスムーズな運営に努めた旨の話がありました。

その後、会計の井上君より上期の会計報告がされました。

最後に名古会長より総評をいただき、下期もご協力をお願いしますとの話で終了しました。



各委員長の報告を受ける会場内の様子